

2016年度 センター試験 本試験 世界史 A

第1問 世界史上の国家の再編や建設

出題範囲	19～20世紀の国家の再編や建設
難易度	★★★☆☆
所要時間	15分
傾向と対策	2016年度の第1問は、国家の再編や建設がテーマ。Aの問1、問2は、ある戦争や事件を軸にしてその前・中・後の出来事であるかを検討すると解きやすくなる。普段の学習のときにも年号を覚えておくよりは、大きな事件の前後で覚えておくと流れがつかみやすくなる。Aの問3は、予測できる問題ではなく、知識があるかないかが正解にたどり着ける分かれ目になるが、この問題を機に頭の片隅に知識を入れておくようにしておこう。Bは比較的やさしい問題が揃っているため、正解して得点を稼いでおきたい。

A

問1 1 正解は③

難易度 ★★★☆☆

解説

出題分野は、①第二次世界大戦と世界、②、④第一次世界大戦と世界、③アジア・アフリカ・ラテンアメリカの自立と課題であり、第二次世界大戦後に起こった、国家や地域の再編に関する問題。この問題では、(1)事実誤認の有無、(2)第二次世界大戦後の再編に関する記述であるか、の2点を検討したい。それぞれの選択肢を第二次世界大戦前・中・後に振り分けておくと、より知識の定着につながる。

- ① 誤 ソ連がバルト三国を併合したのは、第二次世界大戦中（1940年）。1939年9月にドイツがポーランドに侵攻したあと、ソ連もポーランド・バルト三国に侵攻し、1940年に正式にバルト三国の併合が決定した。参考までに、1917年にはエストニアが、1918年にラトヴィアとリトアニアがロシアからの独立を宣言し、三国とも1920年にソヴィエト政権から独立の承認を受けた。しかし、1940年にソ連に併合され、独立を回復したのは、1991年9月のことであった。
- ② 誤 アイルランド自由国が成立したのは、第二次世界大戦前の戦間期（1922年）。1914年にアイルランド自治法が成立したが、その実施は戦争後まで延期された。これに反対する勢力がイースター蜂起（1916年）を起こし、1919年にはアイルランドのシン＝フェイン党が共和国成立を宣言した。1922年には北部アルスター地方を除いてアイルランド自由国が発足し、1937年にはエール共和国として完全にイギリスから独立を果たした。
- ③ 正 アフリカ統一機構（OAU）が成立したのは、第二次世界大戦後（1963年）。「アフリカの年」（1960年）から3年後に、アフリカ独立諸国首脳会議でアフリカ統一機構の成立が決定された。2002年にはアフリカ連合（AU）に代わった。

- ④ 誤 オスマン帝国が**セーヴル条約**で領土を縮小されたのは、**第二次世界大戦前の戦間期**（1920 年）。セーヴル条約は、第一次世界大戦の戦敗国に対する講和条約の一つで、対オスマン帝国の条約である。

◆整理 第一次世界大戦の戦敗国に対する講和条約

▷ヴェルサイユ条約（一部は対ドイツ）

- 全植民地と海外のすべての権利を放棄し、領土を割譲。
 - アルザス・ロレーヌ→フランスが領有。
 - ポーランド回廊→バルト海への出口としてポーランドへ割譲。
 - ザール→国際連盟の管理下とし、15 年後に人民投票で帰属を決定。
(※炭田の所有・採掘権はフランスに帰属)
 - ダンツィヒ→国際連盟の管理下。
 - オーストリアとの合併禁止。
- 軍備制限、徴兵制の禁止、空軍・潜水艦保有禁止、ラインラント非武装化。
- 賠償金支払い。

▷サン＝ジェルマン条約（対オーストリア）

- オーストリア＝ハンガリー帝国の解体。
- ポーランド・チェコ・ハンガリー・セルブ＝クロアート＝スロヴェーンを王国（ユーゴスラヴィア）として独立。
- トリエステ・南チロルをイタリアに割譲。

▷ヌイイ条約（対ブルガリア）

- ギリシア・ユーゴスラヴィアに領土を割譲。
- ドブルジアをルーマニアに返還。

▷トリアノン条約（対ハンガリー）

- オーストリアからの分離独立。
- スロヴァキアをチェコに割譲。
- クロアチアとボスニアなどをセルブ＝クロアート＝スロヴェーン王国（ユーゴスラヴィア）に割譲。
- トランシルヴァニアをルーマニアに割譲。

▷セーヴル条約（対オスマン帝国）

- ダーダネルス海峡の非武装化と国際化。
- アルメニア・ヒジャーズの独立。
- イラク・パレスチナ・トランスヨルダンをイギリス、シリアをフランスの委任統治とする。
- トルコの軍備制限・治外法権→ローザンヌ条約（1923 年）で撤回。
- キプロス島をイギリスに割譲。

問2 2 正解は④

難易度 ★★★☆☆

解説

出題分野は、**a**、**c** 第二次世界大戦と世界、**b** 第一次世界大戦と世界であり、ファシズムの伸張やその背景に関する順序並び替え問題。この問題における基準を **c** の世界恐慌（1929年）に置くと、問題が解きやすくなり、それぞれの出来事の契機を覚えておくと、より知識が定着しやすくなる。**b** → **c** → **a** の順番になる組み合わせの④が正解。

- a** ヒトラーが政権を掌握したのは、首相に就任した **1933年**。1920年にナチ党（国家社会主義ドイツ労働者党）が結成され、1932年に総選挙でナチ党が第1党になった。
- b** ムッソリーニが政権を獲得したのは、**1922年**の**ローマ進軍**のとき。1921年にファシスト党を結成したムッソリーニは、資本家・地主・軍部に支持され、労働組合や農民組織を攻撃して勢力を拡大した。1922年のローマ進軍で政権を握ったのち、1925年に独裁政治を開始した。
- c** アメリカで**世界恐慌**が起こったのは、**1929年**。この対策として、「持てる国」は本国・植民地・自治領で経済ブロックを形成し、保護貿易主義に傾倒した。反対に「持たざる国」は、経済ブロックを作るために植民地を獲得する必要が高まり、対外侵略を積極的に実施した。

◆整理 ナチ党台頭の要因

- 資本家と労働者の中の間層（商人・手工業者など）の支持が強まった。
- 共産党の台頭に危機感を抱いた資産家・軍部の支持も強まった。
- 時代の閉塞感の中で指導者原理を掲げたことが人々の期待を集めた。
- 大統領緊急命令が繰り返され、議会政治そのものが空洞化しつつあった。

◆整理 世界恐慌の要因

- 1920年代の好景気を受けて行われた過剰な投機による株価の異常な上昇。
- 工業製品を大量生産したことによる生産過剰。
- 労働者の賃金の抑制や大戦中に農業生産を拡大し、生産過剰から農業不況となってしまったことによる国民の購買力の低下。

問3 3 正解は②

難易度 ★★★★★

解説

出題分野は、①東西対立と両陣営の形成、②諸民族の抵抗運動、③、④第二次世界大戦と世界であり、20世紀の抵抗運動に関する問題。この際、誤っている選択肢の誤っている部分を直したバージョンを自分で書いておき、確認しておくとい。

- ① 誤 **ベトナム独立同盟**（ベトミン）は、**フランス**に対する抵抗運動を行った。1941年に**ホー＝チ＝ミン**は、ベトナム独立同盟（ベトミン）を結成し、**1945年**には**ベトナム民主共和国**の独立を宣言した。独立を認めない**フランス**は、翌年ベトナムに侵攻し、**インドシナ戦争**を始めた。
- ② 正 **清**による**鉄道国有化**に対して、**四川暴動**が起こった。**幹線鉄道国有化**は**1911年**5月に発布され、清は国有化した鉄道を担保に外国から借款し、財政難の事態の改善をもくろんだ。四川暴動が光緒新政によって弾圧されたことを機に、革命の気運はいっそう高まり、**1911年**10月には**武昌**^{ふしやう}の新軍が蜂起し、**辛亥革命**が始まった。
- ③ 誤 **自由フランス政府**（自由フランス）を組織したのは、**ド＝ゴール**。**1940年**にドイツに**パリ**を占領され、降伏したフランスには、対ドイツ協力政権である**ヴィシー政府**が**ペタン**によって組織された。それに対抗して、イギリスに亡命していた**ド＝ゴール**は**自由フランス政府**を樹立し、ドイツに対する抗戦を続けた。ちなみにチャーチルは、1940年5月からイギリスの首相として、第二次世界大戦を戦い抜いた人物である。
- ④ 誤 **抗日民族統一戦線**を結成したのは**中国**。**1937年**7月の**盧溝橋事件**で**日中戦争**が始まると、9月に**第2次国共合作**（抗日民族統一戦線）が成立し、共通の敵である日本にともに対峙する姿勢をみせた。ちなみに1924年に成立した**モンゴル人民共和国内**には、1939年に日本の傀儡政権である**モンゴル自治連合政府**が組織された。

B

問4 4 正解は③

難易度 ★☆☆☆☆

解説

出題分野は、アメリカ大陸の動向であり、文章中の空欄補充問題。キーワードがおさえてあれば、正解にたどり着ける。メスティーツやクリオーリョなどの呼称は混同しやすいため、再度確認しておこう。また、他の選択肢の内容も確認しておきたい。

ア **クリオーリョ**が入る。キーワードは「ラテンアメリカ地域」「植民地生まれの白人」の2カ所。**植民地生まれの白人**は**クリオーリョ**と呼ばれ、**ラテンアメリカの独立の主演**となった。そのため、彼らが支配していた**プランテーション**、**アシエンダ制**などといった社会構造は、独立後も維持された。また、白人と黒人の混血は**ムラート**、インディオと黒人の混血は**サンボ**と呼ばれる。

イ **シモン＝ボリバル**が入る。キーワードは「南米北部のコロンビアやベネズエラの独立を指導した」。コロンビ

アやベネズエラの独立を指導した**シモン＝ボリバル**はベネズエラの**クリオーリヨ**出身で、ベネズエラ・ペルー・ボリビアを解放し、さらには**大コロンビア**を樹立した。

※メスティーソ **白人とインディオ**の混血で、**被支配層**に区分される人々。ムラート・黒人奴隷・インディオよりも上の地位にいる。

※ゲバラ 1959年の**キューバ革命**の指導者。カストロを援助し、革命後にはボリビアに渡り、ゲリラ闘争に加わった人物。

問5 **5** 正解は②

難易度 ★★☆☆☆

解説

出題分野は、ヨーロッパ世界の拡大であり、ヨーロッパ人による探検活動に関する正誤問題。大航海時代と15世紀頃の「探検者」と「探検した地域」を復習しておきたい。コロンブスに関しては、覚える要素が多いが努力あるのみだ。

- a 正 **コロンブス**は、**西回り**の航海で**カリブ海**の小島に到達し、**サンサルバドル島**と名付けた。彼はスペイン女王**イサベル**の後援を受けて**1492年**にインドを目指して、スペインを出発した。
- b 誤 1497年頃、**アメリゴ＝ヴェスプッチ**は**中南米**を探検した。フィレンツェ生まれの彼は4回にわたって新大陸を探検し、1501年の航海報告でこの地は**アジア**ではないとした。

問6 **6** 正解は④

難易度 ★★★★★

解説

出題分野は、①米ソ両大国の動揺、②、④東西対立と両陣営の形成、③社会主義の後退と冷戦の終結であり、冷戦期の出来事に関する問題。こういった問題の場合、(1)事実誤認の有無、(2)冷戦期の出来事に関する記述であるか、の2点を検討したい。また、「主語」と「述語」に齟齬がある場合（誤っている選択肢）、「主語」をどう変えたら正しい選択肢になるかを書き留めておき、答え合わせのときに確認すると、より知識が定着する。

- ① 誤 **文化大革命**を主導したのは、**毛沢東**。**1966年**に開始されたこの動きは、毛沢東の権力奪回を謀ろうと展開したものである（冷戦期）。**紅衛兵**を組織し、党の幹部や知識人を失脚させ、追放した。ちなみに、**鄧小平**は、文化大革命で実権派として批判され、失脚した人物だが、1976年の毛沢東の死と四人組の逮捕を受けて復活し、事実上の最高指導者の座に就いた。彼は、4つの現代化や経済特区の設置などを通じて、独裁政治を維持しながらも**資本主義的経済政策**を展開した。
- ② 誤 **ワルシャワ条約機構**を結成したのは、**ソ連**。**ワルシャワ条約機構**は、1955年にソ連を筆頭に形成された東側陣営最大の軍事同盟（冷戦期）。1949年に結成された**北大西洋条約機構（NATO）**や1954年のパリ協定で決定された**西ドイツの再軍備**に対抗して結成された。ちなみに、アメリカ合衆国は北大西洋条約機構に西側陣営として参加し、他の加盟国を率いた。

- ③ 誤 ペレストロイカを開始したのは、**ゴルバチョフ**。ペレストロイカは、1980 年代に**ゴルバチョフ**が始めたソ連の社会全体の大規模な**改革**のことを指し、知識人を登用し、**経済の再建**を図った（冷戦期）。また**自由化**や**民主化**も目指したが、最終的には彼の意図を越えて、ソ連共産党の解体やソ連自体の消滅に達してしまった。ちなみに、**フルシチョフ**は、スターリンの次に首相となった人物で、**スターリン批判**と**平和共存路線**を打ち出し、冷戦の「雪解け」期にソ連を代表した。そのため、フルシチョフが1959年に訪米するなどして、冷戦の緊張が緩和されたように見えたが、スターリン批判をすることで中国との対立を深めることになった。彼はその後のキューバ危機への対応や経済政策の失敗などが原因で失脚した。
- ④ 正 東ドイツは、**ベルリンの壁**を築いた。**1949年**に**ドイツ連邦共和国（西ドイツ）**、**ドイツ民主共和国（東ドイツ）**がともに成立し、1961年にベルリンの壁が建設された（冷戦期）。この壁は、資本主義を導入し、経済発展を遂げていく西ドイツに亡命しようとする東ドイツ国民を止めようとするもので、東ドイツの領域内にある西ベルリンを囲む形で作られた。**1989年**に**ベルリンの壁は崩壊**したが、それまでに壁を越えて亡命しようとして死傷した者は約200名（逮捕者は約3,000名）に達した。

C

問7 7 正解は①

難易度 ★★★★★

解説

出題分野は、①オスマン帝国の動揺と民族の自覚、②列強の国内情勢、③第一次世界大戦と世界、④第二次世界大戦と世界であり、19世紀以降の戦争やその結果に関する問題。こういった問題は、(1)事実誤認の有無、(2)19世紀以降の戦争やその結果に関する記述であるか、の2点を検討したい。また、誤っている選択肢に関して、どのように直すと正しくなるかを書き留めておくと、より知識が定着する。

- ① 正 **1884年**に勃発した、ベトナムの宗主権をめぐる**清仏戦争**で清は敗北し、**1887年**に**フランス領インドシナ（インドシナ連邦）**が成立した。**1885年**の**天津条約**（清仏戦争の講和条約）では、**清はベトナムの宗主権を放棄**し、フランスによる保護国化を承認した。復習の際には「◆整理 **フランスのベトナム進出**」を活用してほしい。
- ② 誤 **アメリカ＝スペイン戦争（米西戦争）**では、**アメリカ**が勝利した。**1898年**に、キューバの独立運動とアメリカのメイン号撃沈事件を受けて開始した米西戦争は、アメリカ（マッキンリー大統領時代）の勝利に終わり、スペインから**フィリピン・グアム島・プエルトリコ**を獲得し、**キューバ独立**を決定した（講和条約であるパリ条約の内容）。さらには、この戦争を機に**ハワイを併合**し、海軍基地**パールハーバー**を建設した。※表面上ではキューバ独立を決定したものの、事実上**アメリカがキューバを保護国化**した。
- ③ 誤 **第1次バルカン戦争**の結果、バルカン諸国間の友好関係は**薄れ**、むしろ事態は**悪化**した。**1912年**に勃発した第1次バルカン戦争は、**オスマン帝国**（青年トルコ政権＝親ドイツ：パン＝ゲルマン主義）対**バルカン同盟**（パン＝スラヴ主義）の戦いで、オスマン帝国は敗北し、今度は帝国の領土喪失とその配分を巡るバルカン同盟内での対立が生じるようになった。

- ④ 誤 **スペイン内戦** (1936 年～1939 年) **以前**に、**人民戦線政府**は成立した (1936 年)。1936 年に勃発したスペイン内戦は、スペイン領モロッコでの反乱から始まった、アサーニャ率いる**人民戦線政府** 対 **フランコ**率いる**反乱軍**の対立。人民戦線政府は反ファシズム勢力であったため、**ソ連**の支援を受けた。一方反乱軍は、反ファシズム勢力に対立しているため、**ドイツとイタリア**の支援を受けた。また、**イギリスとフランス**は戦火の拡大を恐れて**不干渉政策**を取った。

◆整理 フランスのベトナム進出

1858 年：**ナポレオン 3 世**が**仏越戦争**を起こす (宣教師殺害が口実)。

1862 年：**サイゴン条約**締結→**コーチシナ東部**をフランスに割譲。

(1873 年：**劉永福**の**黒旗軍**が**反仏闘争**を展開)。

1883 年・1884 年：**ユエ条約**締結→ベトナムがフランス (第三共和政) の**保護国**に。

1884 年：**清仏戦争**勃発。

1885 年：**天津条約**締結→清がベトナム宗主権を放棄。

1887 年：**フランス領インドシナ連邦**成立 (ベトナム + カンボジア)。

(1893 年：ラオスがフランスの保護国に→1899 年：連邦に編入)。

- **サイゴン条約** (1862 年)：

仏にキリスト教布教の自由も認める。

- **ユエ条約**：

1883 年：ベトナムをフランスの保護国とする仮条約。

1884 年：保護国化の内容を確認。

◆整理 バルカン戦争

▷ **ボスニア・ヘルツェゴヴィナを巡る民族対立**

クロアチア人・ムスリム人 VS. **セルビア人**

反セルビア→**パン＝ゲルマン主義** VS. **パン＝スラヴ主義**

▷ **結果**

1878 年：オーストリアがボスニア・ヘルツェゴヴィナの**行政権**を獲得 (ベルリン会議)。

1908 年：オーストリアがボスニア・ヘルツェゴヴィナを併合 (青年トルコ革命)。

【1911 年：イタリア＝トルコ戦争 (伊土戦争) ←これに乗じて第 1 次バルカン戦争を起こす】

【1912 年：**バルカン同盟**結成→セルビア, ブルガリア, モンテネグロ, ギリシア】

▷ 第 1 次バルカン戦争 (1912 年 -1913 年)

×△オスマン帝国 (青年トルコ政権) VS. ○△バルカン同盟

: 親ドイツ→パン=ゲルマン主義

: パン=スラヴ主義

結果: オスマン帝国の領土喪失 (イスタンブル以外のヨーロッパ領とクレタ島喪失), その配分を巡るバルカン同盟内の対立。

▷ 第 2 次バルカン戦争 (1913 年)

契機: ブルガリアの取得領土が過大。

×△ブルガリア VS. ○△他のバルカン同盟諸国 + ルーマニア + オスマン帝国

結果: ブルガリア領土喪失→ドイツ・オーストリアに接近。

問 8 8 正解は①

難易度 ★★★☆☆

解説

出題分野は, ①ヨーロッパ諸国の再編, ②第一次世界大戦と世界, ③ヨーロッパ市民社会の成立, ④主権国家の形成であり, アレクサンドル 2 世が実施した「大改革」と呼ばれる一連の改革政策に関する問題。誤っている選択肢に関しては, 誰の時代の出来事かを確認しておくといよい。

- ① 正 アレクサンドル 2 世は 1861 年に農奴解放令を發布した。
- ② 誤 ブレスト=リトフスク条約は, ロシアのソヴィエト政権が 1918 年に第一次世界大戦からの離脱を表明したもの。この時期の政権は, 戦争に強く反対していたボリシェヴィキの独裁で, 1918 年 1 月に政権を獲得し, 議会を解散させ, 独裁に持ち込んだ。
- ③ 誤 神聖同盟が結成されたのは, 1815 年。アレクサンドル 1 世の提唱によって, イギリス (国教会)・トルコ (イスラーム教)・教皇を除く全ヨーロッパの君主同盟が結成された。この同盟は, ウィーン体制を守る反自由主義の同盟としてメッテルニヒに利用された。
- ④ 誤 首都ペテルブルク (サンクト=ペテルブルク) を建設したのはピョートル 1 世で, 1712 年にモスクワから遷都した。ネヴァ川河口の湿地に位置しているペテルブルクは「ヨーロッパへの窓」となった。

◆整理 農奴解放令の内容・結果

内容

- 農奴に人格的自由を認め、土地所有を認める。
- 農奴は地代の 15-20 倍で土地を買い戻す。
- ミールが、農地の買い戻し・利用・金銭支払いの窓口。

結果

- 農民の大部分は土地を買い戻すことができず、以前と変わらない小作人の生活をおくる。
- 都市に出て工業労働者となる者もいた→ロシアでの産業革命の原動力となる。

問9 9 正解は②

難易度 ★★★★★☆

解説

出題分野は、①古代の地中海世界、②フランス革命とナポレオン、③ヨーロッパ諸国の再編、④東西対立と両陣営の形成であり、世界史上の政治制度の変化に関する問題。この問題は、「国」「時代」「出来事」の3点に齟齬が無いかを判別する必要がある。誤っている選択肢に関しては、その3点のうちのどれをどのように訂正すべきかを書き留めておいて、確認するとよい。

- ① 誤 アテネで直接民主政が確立したのは、**B.C.5世紀**。直接民主政を確立させたペリクレスは、ペルシア戦争中（B.C.500年 - B.C.449年）にも生存していたことから、直接民主政の確立はB.C.7世紀の出来事ではないことがわかる。ペリクレスは、B.C.462年頃に、エフィアルデスの改革で民会・評議員会・民衆法廷を確立させた。ちなみに、**B.C.7世紀**のアテネでは、商工業の発達から貧富格差が生じ、**平民と貴族が対立**している時期で、さらに**ドラコンの立法**で貴族の恣意的な法解釈が防止された。
- ② 正 フランスでは、**18世紀**に、**国民公会が招集**された。国民公会は、**1792年**に解散された**立法議会**（1791年成立）の代わりに、最初の男性普通選挙により同年に成立した一院制の議会。成立したのちに、**王政の廃止と共和政の成立**が決定され、翌年には**国王ルイ16世の処刑**がなされた。国民公会自体は1795年10月に総裁政府が発足するまで存続した。
- ※ルイ16世の妻・マリ＝アントワネットは、ルイ16世と同じ時期（1793年1月）ではなく、1793年10月、ジャコバン派独裁下で処刑された。
- ③ 誤 イギリスでは、**19世紀**に**保守党**と**自由党**の二大政党制が成立した。保守党は、1830年以降トリー党に代わって使用された党名で、**地主勢力**を基盤とし、帝国主義を推進する立場を取った。代表的な政治家に**ディズレーリ**がいる。反対に、**自由党**は、ホイッグ党の流れを汲んだ**自由主義改革**を目指した政党。代表的な政治家に**グラッドストーン**がいる。ちなみに、**労働党**は**マクドナルド**を筆頭に、1906年に労働代表委員会が改称されて作られた政党。

- ④ 誤 韓国では、20 世紀に^{イ スンマン}李承晩が初代大統領となった。1948 年の大韓民国成立から大統領を務めた李承晩は、1960 年の四月革命で失脚した。ちなみに、^{パクチョンヒ}朴正熙は 1961 年のクーデタを指導したのちに 1963 年に大統領に就任した。外資導入などで**経済発展**を図りつつ独裁体制（**開発独裁**）を維持したが、政権の腐敗、貧富格差の拡大が進行し、1979 年に暗殺された。

（制作：重森理瑛，佐野来実）

2016年度 センター試験 本試験 世界史 A

第2問 世界史上の農耕や農作物

出題範囲	中世～20世紀の世界の農耕や農作物の歴史
難易度	★★★☆☆
所要時間	15分
傾向と対策	2016年度の第2問だが、問3のような地図問題はほぼ毎年出るので、それを意識してまず教科書や資料集の地図を日頃から見るのが大切である。Bは基本問題が多いので、すべて正解することを心がけよう。Cは、問9の芸術における「〇〇主義」が大変覚えにくいだが、その作家の絵を一度見て、特徴を見いだすことができれば、視覚的に覚えられて記憶に残りやすい。

A

問1 10 正解は②

難易度 ★★☆☆☆

解説

出題分野は、東アジア世界の発展であり、トウモロコシの原産地とその伝播に関する文章の空欄補充問題。イは多少難しいかもしれないが、選択肢が与えられている中でどちらがより時代的にふさわしいかを検討すれば、正解にたどり着ける。

ア **アメリカ大陸**が入る。キーワードは、「ア 原産のトウモロコシ」。乾燥に強い**トウモロコシ**は、**アメリカ大陸**を原産としていたため、大航海時代に世界各地に伝播され、人口の増大に寄与した。他にも、寒冷に強い**ジャガイモ**や甘藷^{かんしょ}と呼ばれるサツマイモ、トマト、カボチャ、トウガラシ、タバコ、カカオなどがアメリカ大陸を原産としている。

イ **清**が入る。キーワードは、「トウモロコシ」と「中国でもたちまち普及し」にある。トウモロコシやサツマイモが中国に伝わってきたのは、**明代末**といわれているが、**人口が急増したのは、18世紀**になってから（清代）。この人口の急増は、税制改正の結果、税逃れの戸籍隠しが消滅したことと、華北でのトウモロコシ栽培と江南でのサツマイモ栽培の拡大によって食糧事情が好転したためとされている。

問2 11 正解は③

難易度 ★★☆☆☆

解説

出題分野は、陸のネットワークであり、中央アジアの乾燥地帯に関する問題。誤っている選択肢に関しては、それぞれがどこの地域の記述であるかを検討すると、知識の幅がより広がる。

① 誤 **毛皮**の産地として知られているのは、寒冷地帯の**シベリア**。

- ② 誤 中央アジアに多い遊牧民は、移動式のテント（ゲル、パオ）を住居として使っていることが多い。
- ③ 正 オアシス都市は、中央アジアを通るシルクロードの中継地点に点在していたため、商業活動が盛んに行われ、ソグド人などを利用した東西貿易が発達した。
- ④ 誤 金と岩塩とを交換する貿易を行ったのは、アフリカ大陸のガーナ王国。サハラ縦断貿易と呼ばれるこの貿易は、ムスリム商人を介して交換が行われた。

問3 12 正解は④

難易度 ★★★☆☆

解説

出題分野は、イスラーム世界であり、アッバース朝の最大版図を示した地図を選ぶ問題。よく地図を確認して、最大版図を確認しておこう。また、他の選択肢がどの国の最大版図・領域かを確認しておくといよい。アラビア半島全土を領土に含むのは④のみなので、ヒントとなるのはアラビア半島。アッバース朝はウマイヤ朝を打倒して建国されたため、アラビア半島は領域内なので④が正解。また、751年に唐とタラス河畔の戦いを起こすなど、かなり東方にも領域を拡大していることがわかる。アッバース朝はアフリカ大陸などに進出することはあっても、ヨーロッパ（地中海の島を除く）に進出することはなかった。①はオスマン帝国、②はアレクサンドロス帝国、③は現在のイラクの領土を示していると考えられる。

問4 13 正解は④

難易度 ★★☆☆☆

解説

出題分野は、①第一次世界大戦と世界、②ヨーロッパ諸国の再編、③列強の国内情勢、④列強による世界分割であり、世界分割を進めていた列強に関する問題。この問題に関しては、「主語」と「述語」に齟齬がないかを検討していきたい。また、誤っている選択肢は、「主語」を変えたら正解の選択肢になることを確認しておこう。

- ① 誤 ドイツが進めたのは、3B政策（ベルリン・ビザンティウム・バグダード）。ドイツは、これらの都市を結ぶ鉄道建設を通じて、3C政策に対抗して西アジア方面への進出を目指した。ちなみに、3C政策（カルカッタ・ケープタウン・カイロ）はイギリスによって進められた。
- ② 誤 三国同盟（1882年）を結んだのは、ドイツ・オーストリア・イタリア。三国ともフランスと対立していることを理由に、フランスを孤立化させようと、ビスマルクにより発足した。フランスは歴史的にドイツと対立が多く、普仏戦争での敗北も経験しているため、敵愾心^{てきがい}が強かった。イタリアとフランスは、チュニジア問題で対立していた。
- ③ 誤 パナマ運河を開通（1914年）させたのは、アメリカ合衆国。セオドア＝ルーズヴェルトは、カリブ海政策^{こんぼう}で棍棒外交を進め、パナマ運河地帯を永久租借することに成功した。イギリスが領有していたのは、スエズ運河。1869年に開通したスエズ運河は、イギリスがスエズ運河会社の持ち株を買収したために、1875年からイギリスが領有していた。また、それを機にイギリスのエジプトに対する介入が強まった。

- ④ 正 フランスは、アフリカ縦断政策を展開するイギリスに対抗して、アフリカ横断政策を繰り広げ、サハラ砂漠周辺の国々を支配下に置いた。この縦断政策と横断政策が交錯して衝突したのが、スーダンのファシヨダ事件（1898年）。この事件ではフランスが譲歩し、スーダンはイギリス・エジプトの支配下に置かれることになった。

B

問5 14 正解は③

難易度 ★★★☆☆

解説

出題分野は、①、③古代オリエント世界、②南アジア世界、④中国文明の始まりと中国の統一であり、古代の農業先進地域に関する問題。誤っている選択肢に関しては、どこの部分が誤っているのか、どう直せば正解の選択肢になるかを検討して、復習の際に確認しておきたい。また、暦は混同しやすいため、「◆整理 太陰暦・太陽太陰暦」を利用して復習してほしい。

- ① 誤 メソポタミアでは、ティグリス・ユーフラテス川流域で、大規模な灌漑農業が行われた。メソポタミアは、「肥沃な三日月地帯」と周囲の乾燥遊牧世界が平坦に連なる開放的地形により、諸民族の興亡が激しかった地域。ちなみに、ナイル川流域はエジプトにある。
- ② 誤 ハラッパーは、インダス川（デカン高原の西側）流域にある都市国家。よってそこでは、インダス文明が栄えた。ちなみに、ガンジス川（デカン高原の東側）流域には、パタリプトラなどの都市がある。
- ③ 正 古代エジプトでは、太陽暦が用いられた。古代エジプトでは、ナイル川の増水の規則性とシリウス星の出現を目印にしながら暦を作成した。のちに古代ローマのユリウス暦を経て、16世紀に現在の西暦（グレゴリウス暦）となった。
- ④ 誤 長江流域で稲作が開始されたのは、長江文明のとき。長江文明の遺跡として有名な河姆渡遺跡^{かぼと}で、稲作を行っていたことが確認されている。ちなみに、春秋時代後期からは鉄製農具や青銅貨幣が使用されるようになった。また、牛耕は戦国時代に普及し、農業生産の飛躍的増大につながった。

◆整理 太陰暦・太陽太陰暦

太陰暦

- 古代メソポタミアで発明。
- 7世紀にイスラーム暦が作成される。
- 農耕では不便。

太陽太陰暦

- 古代メソポタミア・インド・中国・日本（旧暦）で広く使用。
- 各月の日数に差がある。

問6 15 正解は②

難易度 ★★★☆☆

解説

出題分野は、①アメリカ大陸の動向、②ヨーロッパ世界の拡大、③中世ヨーロッパ世界、④列強の国内情勢であり、農地や農業労働力に関する問題。誤っている選択肢に関しては、どこの部分が誤っているのか、どう直せば正解の選択肢になるかを検討して、復習の際に確認しておきたい。

- ① 誤 自営農地法（ホームステッド法）を施行したのは、リンカン。ホームステッド法とは、公有地で5年間定住し、開墾したものに土地160エーカーを無償で与えるとした法律。1861年の南北戦争開始を受けて、支持を集める必要があったリンカンは、ホームステッド法を施行したことにより、西部の支持を獲得した。ちなみに、セオドア・ローズヴェルトは、カリブ海政策で棍棒外交を進め、パナマ運河地帯を永久租借することに成功した。また、国内では革新主義を掲げ、トラストを規制した。
- ② 正 アメリカ大陸では、先住民がプランテーション農業・鉱山開発・都市建設などの現場で酷使されたために人口が激減した。そのため、労働力を補うためにアフリカ大陸から黒人奴隷が輸送された。
- ③ 誤 ヨーロッパでは、黒死病（ペスト）が流行した結果、農民の地位が向上した。黒死病の流行や気候の寒冷化、百年戦争などで農村人口が激減したため、農民の希少価値が上がり、領主は農民の待遇を改善して農奴解放が進んだ。しかし、待遇を改善した結果、窮乏した領主は農民への負担を再び重くした（封建反動）。
- ④ 誤 ストルイピンが農地改革を推進したのは、ロシア。1906年に始まったストルイピン改革は、革命派を弾圧していく一方で、ミールを解体して個人土地所有の導入を目指した。なお、ミールの解体は、農民の団結と反抗を防ぐために行われたとされる。

問7 16 正解は①

難易度 ★★☆☆☆

解説

出題分野は、①東アジア世界の形成、②南アジア・東南アジアの植民地化、③イスラーム世界、④東アジア世界の発展であり、税に関する問題。誤っている選択肢に関しては、「述部」をどう直したらいいかを自分で考えたうえで、確認するとより知識の定着が期待できる。

- ① 正 780年に、唐は陽炎の建議で両税法を施行した。大土地所有制が進行していく中で、安史の乱以後、均田制・租庸調の維持は困難となった。結果、租庸調は両税法に、均田制は荘園制に変わった。また、均田農民の没落を受けて、府兵制も募兵制に変わった。
- ② 誤 インド支配を進めるイギリスは、地税を徴収した。徴収手段としてベンガル管区などではザミンダーリー制、マドラス・ボンベイ管区などではライヤットワリー制を実施した。
- ③ 誤 ジズヤ（人頭税）は、初めは啓典^{けいてん}の民に課せられたが、正統カリフ時代以後は征服地の異教徒すべてに拡大された。
- ④ 誤 一条^{いちじょう}鞭法^{べんぼう}を創始したのは、明。明代後期に成立した一条鞭法は、煩雑な徴税方法を簡素化し、税負担の

不均衡を解消することを目的とした、土地税と成年男子の徭役を一括銀納させる税制。万暦帝の時代に全国に広がったとされている。ちなみに、清代中期以降の税制は地丁銀制。これは、成人男子に課していた人頭税を廃止し、その分を土地税に繰り込んで徴収する税制で、雍正帝ようせいの時代に全国に広がった。

C

問 8 17 正解は②

難易度 ★★☆☆☆

解説

出題分野は、①、④ 19 世紀の欧米文化、②、③ルネサンスと宗教改革であり、16 世紀に農民生活を描いた画家に関する問題。他の選択肢に関しても、「活躍した時代」「代表作」「どういった部類の画家か（自然主義や印象派など）」を確認しておく、よい復習になる。

- ① 誤 ミレーは、19 世紀に活躍した自然主義の画家。農民の素朴な姿を描き、代表作には『落穂拾い』や『晩鐘』などがある。
- ② 正 ブリューゲルは、16 世紀のルネサンス期に活躍したフランドル出身の画家。農民の生き生きとした姿や自然を写実的に表現した。彼の代表作には『農民の踊り』や『婚礼の宴会』などがある。
- ③ 誤 ボッティチェリは、15 世紀のイタリア＝ルネサンス期に活躍した画家。メディチ家の保護を受け、女性美を描いた作品が多く、代表作である『ヴィーナスの誕生』や『春』にも女性が描かれている。
- ④ 誤 ルノワールは、19 世紀に活躍した印象派の画家。マネやモネとともにフランスで活躍し、豊満な量感と円熟した色彩を用いた。代表作は『ムーラン＝ド＝ラ＝ギャレット』。

問 9 18 正解は①

難易度 ★★★☆☆

解説

出題分野は、ア：19 世紀の欧米文化、イ：ヨーロッパ市民社会の成立であり、ヴィクトル＝ユゴー作『レ＝ミゼラブル』に関する文章の空欄補充問題。アが不正解だった場合、文化史を、イが不正解だった場合、フランス政治史を要確認。この時代の文化史は混同しやすいため、復習しておくといよい。

- ア ロマン主義が入る。キーワードは、「ヴィクトル＝ユゴー」。ヴィクトル＝ユゴーは、代表的なロマン主義作家。フランス出身で、ナポレオン 3 世の独裁に反対して亡命し、『レ＝ミゼラブル』を著した。
- イ 七月王政が入る。キーワードは、「1830 年の民衆蜂起をきっかけに成立した」。1830 年に成立したのは、七月王政。議会の解散や、選挙資格の大幅な制限、言論・出版の統制の強化を内容とした、シャルル 10 世が発した七月勅令に対する蜂起が同年に起き、ブルボン復古王政を倒した。これを七月革命と呼ぶ。

※第三共和政：普仏戦争を経て 1871 年に成立し、ティエールを中心とした臨時政府が発足した。

問 10 19 正解は④

難易度 ★★★☆☆

解説

出題分野は、①ヨーロッパ市民社会の成立、②第一次世界大戦と世界、③第二次世界大戦と世界、④大国の動揺と国際経済の危機であり、国家の政策や国家間の取り決めに関する問題。「誤っているものを選ぶ」ことに留意する。正しい選択肢に関しても、どの時代に起こったかなどを確認しておくといよい。

- ① 正 イギリスでは、1846年に穀物法が廃止され、自由貿易が推進された。ジョージ3世時代に制定された穀物法は、ナポレオン戦争終結後、大陸諸国からの安価な穀物の流入によって起きる国産の穀物価格の下落を恐れたために、外国産穀物に高関税を課して輸入を制限した法律で、この法律の廃止のためにコブデンとブライトが尽力した。
- ② 正 ソヴィエト政権は、1918年から、反革命軍との内戦および諸外国による干渉戦争を耐え抜くための非常体制として戦時共産主義政策を講じた。土地や工場の国有化や、穀物の強制徴発と食料の配給制などを内容としたこの政策によって経済は衰退していったが、干渉戦争が終結したのち、1921年にはレーニンが新経済政策（NEP）を講じたために、経済成長が見られるようになった。
- ③ 正 1929年の世界恐慌を受けて、フランクリン＝ローズヴェルトが実施したニューディール政策の内容の1つに農業調整法（AAA）が含まれている。1933年に施行されたこの法律は、農業生産を制限し、過剰生産物は政府が買い上げるなどして農産物価格の安定を目指し、それによる農民の救済とその購買力の回復を図った。
- ④ 誤 関税と貿易に関する一般協定（GATT）は1947年に成立し、関税その他の貿易障壁を撤廃し、自由で平等な国際貿易を促進することを目的とした。1995年にはこの協定をさらに発展させた組織として、世界貿易機関（WTO）が発足した。

(制作：重森理瑛，佐野来実)

2016年度 センター試験 本試験 世界史 A

第3問 世界史上の移住や移民

出題範囲	イタリア・アルゼンチンの歴史，国際的移動・交流・対立の歴史
難易度	★★★☆☆
所要時間	15分
傾向と対策	2016年度の第3問は，Aの問2のような問題は単なる年号暗記ではなく，前後関係から類推して解ける問題が多い。世界史を学ぶときは，個別的に出来事を覚えるのではなく，流れを意識して学習しよう。また，Bの問6にある列強の租借領域は，資料集で視覚的に租借場所を確認しておくとう理解が深まる。世界史上で出てきた地名は，資料集の地図で場所を確認する習慣をつけよう。

A

問1 20 正解は①

難易度 ★☆☆☆☆

解説

出題分野は，ヨーロッパ諸国の再編であり，19世紀のイタリアで起こった出来事に関する文章の空欄補充問題。不正解だった場合は，19世紀のイタリア史をよく復習しておこう。また，他の選択肢に含まれている用語の内容などを確認しておくとうい。

ア サルデーニャが入る。キーワードは，「イタリアは，ア王国を中心に統一された」。イタリアは，サルデーニャ王国を中心に統一された。同国はクリミア戦争にも参戦し，国際的な地位を向上させた。

イ ガリバルディが入る。キーワードは，「赤シャツ隊」。ガリバルディは，赤シャツ隊を編成し，イタリア半島の南部から北に向かって進行した。1860年には両シチリア王国を征服した。

※両シチリア王国：1130年にノルマン朝のルジジェーロ2世がナポリとシチリア島を支配したのが始まりだったが，1860年にガリバルディに征服され，1861年にはイタリア王国に併合された。

※マッツィーニ：秘密結社カルボナリでの活動を経て，「青年イタリア」を結成し，1849年にローマ共和国を樹立したが，フランスの干渉を受けて失敗し，ロンドンに亡命した。

◆整理 イタリア統一への道

- 1852 年：カヴールがサルデーニャ王国宰相に就任
- 1855 年：サルデーニャがクリミア戦争（1853 年～ 1856 年）に参戦
- 1858 年：仏とプロンビエール密約→仏の協力 + ニース・サヴォイアの割譲
- 1859 年：イタリア統一戦争→オーストリアから**ロンバルディア**を獲得
- 1860 年：**中部イタリア諸国**が住民投票でサルデーニャへの併合を決定
ニース・サヴォイアは住民投票でフランスに割譲
ガリバルディが**両シチリア王国**を征服→住民投票で併合
- 1861 年：イタリア王国成立：国王 = ヴィットーリオ = エマヌエーレ 2 世
- 1866 年：普墺戦争→**ヴェネツィア**併合
- 1870 年**：普仏戦争→**ローマ教皇領**併合
- ※「未回収のイタリア」：南チロル + トリエステ

問 2 21 正解は③

難易度 ★★★★★☆

解説

出題分野は、第一次世界大戦と世界であり、アメリカ合衆国において東欧からの移民が急速に増加し始めた時期に関する年表問題。この問題に関連して、アメリカ合衆国に移住する移民の系統（東欧など）とその時代背景をよく確認しておくといよい。

アメリカ合衆国において東欧からの移民が急速に増加し始めた時期は **19 世紀後半～1920 年代**。本国の情勢が不安定であることと第一次世界大戦の勃発を受け、東欧から、経済成長を遂げて世界的に存在感が増しているアメリカ合衆国に移住する人が増えたが、1924 年の**移民法**制定で移民が制限され、移民数が急減した。

問 3 22 正解は④

難易度 ★★☆☆☆☆

解説

出題分野は、①海のネットワーク、②ウィーン体制の成立、③、④地域紛争の激化と深刻化する貧困であり、アルゼンチンの歴史に関する問題。まず、アルゼンチンの場所を地図で確認しておき、その周辺の国も把握しておく。誤っている選択肢がどこの地域に関する歴史なのかを確認しておくといよい。

- ① 誤 **クシュ王国**は、アフリカのナイル川上流域に建国された、**最古の黒人王国**。ピラミッドの建設で知られている。
- ② 誤 **アルゼンチン**は、かつて**スペイン**が領有していて、1816 年に**サン = マルティン**の指導で独立を達成した。

- ③ 誤 アジェンデが**社会主義政権**を樹立（1970 年）したのは**チリ**。しかし、その 3 年後にはアメリカの支援をうけた**ピノチェト**がクーデターを起こし、アジェンデ政権は倒れる。
- ④ 正 サッチャー政権の**イギリス**と、近くの**フォークランド島**の領有を巡って、1982 年に**フォークランド紛争**が生じた。アルゼンチンは敗北したが、1976 年から始まった**軍事政権**下にあった。

B

問 4 23 正解は②

難易度 ★★★☆☆

解説

出題分野は、①中国の古典文明、②イスラーム世界の形成、③ヨーロッパ世界の拡大、④主権国家の形成であり、世界史上の人物の移動に関する問題。この問題は、「国」「人物」「到達地」の 3 点（①、③、④）、「始点～終点」「人物」「名称」の 3 点（②）を検討する必要がある。誤っている選択肢に関しては、それぞれ 3 点のうち、どれに誤りが含まれているか、どう変えれば正解になるのか、を確認しておこう。

- ① 誤 前漢の張騫^{ちやうけん}が派遣されたのは、中央アジアの**大月氏**^{だいつし}。武帝の命令で匈奴を挟撃するため、張騫は大月氏に派遣された。交渉自体は成功しなかったが、彼の報告から西域事情が中国に伝わり、東西交易が活発化した。
- ② 正 **ムハンマド**が、クライシュ族の迫害を避けるため、**メッカ**から**メディナ**に移住したことを**ヒジュラ**（**聖遷**）という。ヒジュラを実施した年が 622 年であるため、これがイスラーム暦の元年とされた。ちなみに、ジハード（聖戦）は、異教徒に対するムスリムの戦いのことを指す。
- ③ 誤 ポルトガルの**ヴァスコ＝ダ＝ガマ**は、インドの**カリカット**に到達し、**インド航路を開拓**した。1497 年にリスボンを出航した彼は、喜望峰を回り、**マリンディ**に立ち寄り、翌年にカリカットに到達した。
- ④ 誤 ロシアの**イェルマーク**は、コサックの族長で**シベリア進出**の契機を作った人物。ちなみに、北アメリカの**アラスカ**に到達したのは**ベーリング**。ベーリングは**ピョートル 1 世**に仕え、1741 年にアラスカに到達したことでその地域はロシア領となった。

問 5 24 正解は③

難易度 ★★★☆☆

解説

出題分野は、①、④世界商業の展開と日本、②東アジア世界の形成、③東アジア世界の発展であり、アジアにおける貿易活動に関する問題で、日本史的要素が多く含まれている。誤っている選択肢に関しては、どこが間違っているか、どう誤っているのかを確認しておこう。

- ① 誤 江戸時代の日本は、**対馬**を通じて、おもに**朝鮮**と貿易をしていた。13 世紀以降、宗氏が対馬の実権を握り、江戸幕府のもとでも**朝鮮外交の実務**と貿易の独占が許された。
- ② 誤 **モンゴル帝国**下では、**海上貿易**は**継続**された。また、モンゴル帝国は泉州を海の窓口として大都を結ぶ

運河・河川を整備した。

- ③ 正 琉球王国は、14 世紀後半、明から冊封^{さくほう}を受けて王国になり、近隣諸国に明との交易品を売買して莫大な利益を得た。15 世紀初めには明に朝貢し、1609 年以降は日中両属の形を取った。
- ④ 誤 朱印船貿易を通して、東南アジアの各地に、日本町が建設された。朱印船貿易は、江戸時代初期に本格化し、おもに東南アジアで活発な貿易活動を行った。この貿易で、日本はおもに生糸を輸入し、銀を輸出した。

問 6 25 正解は④

難易度 ★★★☆☆

解説

出題分野は、①、②大西洋世界の展開とアジアへの進出、③列強による世界分割、④第一次世界大戦と世界であり、世界各国の海外進出に関する問題。③のように、中国分割に関する問題は、「国」と「租借領域」の組み合わせを再度確認しておきたい。復習のときには「◆整理 中国分割」を活用してほしい。「どこ対どの戦いなのか」「その戦いの結果」に関して、復習しておくとうい (①、②)。

- ① 誤 アンボイナ事件は、オランダとイギリスとの間で起こった事件。この事件以降、オランダは香辛料貿易を独占し、イギリスはインド進出に専念することになった。
- ② 誤 フランスは、プラッシーの戦いで敗北した。1757 年のプラッシーの戦いでは、イギリス東インド会社のクライブが、フランス・ベンガル太守軍を破り、それ以後イギリスのインドにおける優位が決定した。
- ③ 誤 19 世紀に広州湾を租借したのはフランス。中国の南方に位置するインドシナ半島をフランスが支配し、1899 年には広州湾を租借した。
- ④ 正 第一次世界大戦中の 1914 年 10 月に、日本は南洋諸島のドイツ領を征服し、翌月には青島を攻略し、ドイツ領膠州湾^{こうしゅうわん}を占領した。また、翌年には袁世凱政府に二十一か条要求を実施した。しかし、1922 年の九カ国条約で日本は山東半島における膠州湾の権益を失った。

◆整理 中国分割

ロシア：旅順・大連 (1898 年)

ドイツ：膠州湾 (1898 年)

イギリス：威海衛・九竜半島 (1898 年)

日本：遼東半島南部 (関東州) (1905 年)

フランス：広州湾 (1899 年)

※アメリカ：ジョン＝ヘイによる三原則 (門戸開放・機会均等・領土保全)

問 7 26 正解は②

難易度 ★★★★★

解説

出題分野は、**a** アジア・アフリカ・ラテンアメリカの自立と課題 **b** グローバル化と多極化であり、国際的な政治問題となった難民に関する問題。中東戦争に関する問題は、度々出題されるため、よく復習しておこう。「◆整理 中東戦争」を利用してほしい。また、ルワンダに関しては、多数部族・少数部族を混同することが多いため、注意が必要である。よく確認しておこう。

a **正** 1948 年に勃発した**第 1 次中東戦争**で、およそ 100 万人の**パレスチナ難民**が発生した。第 2 次中東戦争ではおよそ 70 万人が、第 3 次中東戦争ではおよそ 40 万人が難民となった。1964 年にはパレスチナ解放機構（PLO）が設立されて、解放闘争が展開された。

※パレスチナ難民：もともとパレスチナの住民でありながら、イスラエルに追い出された**アラブ系**の人々。

b **誤** 1990 年に勃発した**ルワンダ内戦**は、旧宗主国ベルギーに優遇されていた少数部族**ツチ族**と多数部族**フツ族**の対立によるもの。フツ族による 80 万人の大虐殺が発生し、ツチ族が政権を樹立すると報復を恐れたフツ族 200 万人が**難民**となる。

◆整理 中東戦争

第 1 次中東戦争（パレスチナ戦争，1948 年）

関係国：イスラエル×アラブ諸国

契機：イスラエル国の建国宣言（1948 年）

結果：イスラエルの勝利。パレスチナ分割案以上の土地がイスラエル国の領土に。

第 2 次中東戦争（スエズ戦争，1956 年）

関係国：エジプト×イスラエル+英・仏

契機：エジプトのスエズ運河国有化宣言（1956 年）

結果：エジプトの勝利。イスラエル侵入軍が撤退。

第 3 次中東戦争（6 日間戦争，1967 年）

関係国：イスラエル×アラブ諸国

契機：イスラエルがエジプト・シリア・ヨルダンを先制攻撃。

結果：イスラエルの勝利。シナイ半島・ゴラン高原・ヨルダン川西岸・ガザ地区を占領した結果、パレスチナ難民が発生。

第 4 次中東戦争（1973 年）

関係国：イスラエル×アラブ諸国

契機：エジプト・シリアがイスラエルに先制攻撃。

結果：イスラエルの勝利。OAPEC が石油戦略を発動した結果、オイル・ショックが起こる。

（制作：重森理瑛，佐野来実）

2016年度 センター試験 本試験 世界史 A

第4問 世界史上の外交や国際関係

出題範囲	19・20世紀の外交, 20世紀のインド
難易度	★★★☆☆
所要時間	15分
傾向と対策	2016年度の第4問は, Aの問3のビスマルクにまつわる問題のように, 多様な政策を行っている人物は出題されやすい(前漢の武帝, 洪武帝も同様)ので, 情報を整理して事績を覚えておこう。Bの近現代史は, 対策が手薄になりがちであるが, 毎年ほぼ出題される。何度も目にするうちに自然と覚えてくるので, 目を背けずにしっかりと学習していこう。

A

問1 27 正解は⑥

難易度 ★★★★★☆

解説

出題分野は, a ヨーロッパ諸国の再編, b, c ヨーロッパ市民社会の成立であり, ドイツ統一に関する順序並び替え問題。基準となるものは立てづらいが, それぞれの出来事の時代背景を考えながら解くと, 正解にたどり着ける。また, ドイツ連邦成立はウィーン会議とセットで, 普仏戦争は単体で, 年号を覚えておくとよい。

- a **プロイセン=フランス戦争(普仏戦争)**が起こったのは, **1870年**。普仏戦争は, ドイツ統一を目指すプロイセンの**ビスマルク**とフランスの**ナポレオン3世**との戦争。9月にナポレオン3世はスダン(セダン)で捕虜になり, 第二帝政は崩壊した。戦争に勝利したドイツは, 1871年にヴィルヘルム1世を皇帝とするドイツ帝国(第二帝国)を建国し, アルザス・ロレーヌを併合した。
- b プロイセンを中心に**ドイツ関税同盟**が成立したのは, **19世紀前半(1834年)**。1828年にプロイセンを中心とする約20の国で結成されたプロイセン=ヘッセン関税同盟を軸に, それと対立していた中部ドイツ通商同盟と南ドイツ関税同盟が統合され, 1834年にドイツ関税同盟が完成した。この同盟の完成によって, プロイセン中心の経済的統一が実現した。
- c **ウィーン会議**によって, **ドイツ連邦**が成立したのは**1815年**。1814年~15年に開かれた**ウィーン会議**では, 1648年のウェストファリア条約で事実上崩壊し, 1806年に滅亡した神聖ドイツ帝国の復活はせず, ナポレオンが樹立したライン同盟も廃止され, 35君主国と4自由都市からなる, 国家連合としての**ドイツ連邦**の成立が決定された。

年代順に c → b → a の組み合わせになる⑥が正解。

問 2 28 正解は①

難易度 ★★★☆☆

解説

出題分野は、①、③東アジアの変容と日本の動向、②第一次世界大戦と世界、④日本の復興であり、日本と他国との取り決めに関する問題。この問題は、「原因」「結果」の2点に齟齬がないかを検討していきたい。誤っている選択肢に関しては、2点のうちどちらに誤りが含まれているか、どう直せば正解になるのかを確認しておくといよい。③の「日清修好条規」や④の「日ソ共同宣言」などは、世界史ではあまり取り上げられない題材ではあるが、しっかり確認しておく必要がある。

- ① 正 開国した契機は、**日米和親条約**にある。**日米和親条約**は、**1854年**に江戸幕府とアメリカが締結した開国条約で、アメリカは**下田・箱館2港の開港**や最恵国待遇の承認などを求めた。この条約により17世紀から続いていた日本の鎖国体制は崩壊した。ちなみに、これと混同しがちな**日米修好通商条約**は、1858年にアメリカ総領事ハリスと江戸幕府が締結した不平等条約。日米和親条約で開港した2港に加え、神奈川・兵庫・新潟・長崎を追加し、さらには自由貿易の原則、領事裁判権の承認、関税自主権の放棄などを定めた。これと同様の内容の条約を、日本はオランダ・ロシア・イギリス・フランスとも締結することになる。
- ② 誤 **日英同盟**を理由に、**第一次世界大戦**に参戦した。日英同盟は、**1902年**に結成され、1914年に日本が**第一次世界大戦**に参戦する口実となった。ドイツに宣戦布告して参戦した日本は、ドイツがもっていた利権を奪い、**ドイツ領南洋諸島**や**膠州湾**を占領した。日本の勢力拡大を恐れたアメリカは、戦間期に開催したワシントン会議の**四カ国条約 (1921年)**で**日英同盟**を解消させ、さらには、翌年の**九カ国条約**で**大戦中の日本の中国進出は無効**となった。
- ③ 誤 **日清戦争**の結果、**下関条約**が締結された。**1894年**に朝鮮王朝で起こった農民反乱である**甲午農民戦争 (東学党の乱)**への介入によって、同年に日清戦争が勃発し、日本は勝利した。その講和条約として**下関条約**が**1895年**に締結され、**朝鮮の完全独立 (清の干渉権の放棄)**や遼東半島・台湾・澎湖諸島の日本への割譲などが規定された。日本の遼東半島獲得に反対の**ロシア**は、**ドイツ・フランス**とともに、**三国干渉**を行い、結果日本は遼東半島を返還した。ちなみに、**日清修好条規**は、1871年に締結した条約で、日本と清が正式に**国交を樹立**した。しかし、琉球の帰属問題は依然として残った。
- ④ 誤 **主権を回復**したのは、**サンフランシスコ平和条約**。1951年に調印された**サンフランシスコ平和条約**で**日本は主権を回復**したが、朝鮮・台湾・南樺太・千島の**領土権を放棄**し、沖縄・奄美大島・小笠原諸島が**暫定的にアメリカの施政下**に置かれることが決定した。ちなみに、**日ソ共同宣言 (1956年)**によって日本とソ連の国交が回復し、これまでソ連の反対によって実現できなかった**日本の国連加盟**が達成された。

問 3 29 正解は③

難易度 ★★☆☆☆

解説

出題分野は、①、②主権国家の形成、③列強による世界分割、④ヨーロッパの復興であり、ビスマルクの外交上

の事績に関する問題。誤っている選択肢に関しては、「時代」と「活躍した重要人物」を確認しておくといよい。

- ① 誤 **ウェストファリア条約**が締結されたのは、**三十年戦争の終結**の年なので**1648年**。プロイセンを代表してウェストファリア条約に調印したのは、フリードリヒ＝ヴィルヘルム大選帝侯。プロイセンはウェストファリア条約で**東ポンメルン**を獲得した。
- ② 誤 **オーストリア継承戦争**を戦ったのは、**フリードリヒ 2世**。1740年に勃発したオーストリア継承戦争は、マリア＝テレジアの家領相続を巡るオーストリア・イギリス対プロイセン・フランス・スペインなどの戦いであった。結果、アーヘンの和約が締結され、マリア＝テレジアのハプスブルク家継承権は承認されたが、オーストリアは**シュレジエン**をプロイセンに割譲することが決定された。この割譲が、のちの七年戦争の契機となる。
- ③ 正 **ビスマルク**は、**1884年**に**ベルリン会議**を開催した。**アフリカ分割を協定するため**に開かれた国際会議で、おもな目的はベルギーのコンゴ領有を調停することであった。この会議で、先に占領した国が領有できるという原則（**先占権**）が確認されたため、列強によるアフリカ分割がいっそう過熱化した。
- ④ 誤 **東方外交**（新東方外交）を行い、東欧諸国との関係改善に努めたのは、戦後の**ブランド**。**ブランド**は、1969年に西ドイツ大統領に就任し、ソ連・西武力不行使条約やポーランドとの関係正常化条約を締結するなどし、**1972年**には**東西ドイツ基本条約**を調印し、翌年には東西ドイツの**国連同時加盟**を果たした人物である。

B

問 4 30 正解は①

難易度 ★★★☆☆

解説

出題分野は、①、③、④第一次世界大戦と世界、②諸民族の抵抗運動であり、ヒンドゥーとムスリム各々の民族主義運動に関する問題。この問題は、「主語（もしくは原因）」と「述部（もしくは結果）」に齟齬が生じていないかに注目したい。誤っている選択肢に関しては、誤っている部分を訂正して確認しておくと同時に、誤っている部分に書かれていた内容（例えば、③のアギナルドなど）について復習しておくといよい。

- ① 正 **ガンディー**は、1919年と1930年の**非暴力・不服従運動**を指導した。この運動は、ヒンドゥー教の不殺生と禁欲の教理にもとづいて、真理の堅持を求めるサティヤグラハの運動である。**ガンディー**を中心としたインド国民会議派が運動を開始し、第1次非暴力・不服従運動の時には、**ジンナー**指導の**全インド＝ムスリム連盟**の支持も得た。
- ② 誤 **ベンガル分割令**に対して、**インド国民会議派**が反対闘争を行った。**1905年**にイギリスによって発布されたベンガル分割令は、ベンガル州を、ムスリムが多い東ベンガルとヒンドゥー教徒が多い西ベンガルに分割するという法令で、反英抵抗運動の分断を狙った行動であった。しかし、この法令は反英闘争の激化を引き起こし、1911年に撤回されることになる。ちなみに、**全インド＝ムスリム連盟**は、ムスリムを反英抵抗運動を起こすヒンドゥー教徒と対立する勢力と考えた**イギリス**の支援によって、1906年に結成された。

- ③ 誤 **ネルー**の下で、**プールナ＝スワラージ（完全独立）**が決議された。1929年に行われたインド国民会議派のラホール大会にて、**プールナ＝スワラージ（完全独立）**が決議され、翌年から開始された**第2次サティヤーグラハ運動**はこれを求める運動とされている。ちなみに、**アギナルド**は、**フィリピン**でスペインからの独立運動を指導した人物。
- ④ 誤 **各州の自治が認められたのは新インド統治法**。1935年に発布された**新インド統治法**は、第2次非暴力・不服従運動後に制定され、**各州の自治は認められたものの**、財政・防衛・外交の権限や州知事らの任命権はイギリスが掌握したままだった。ちなみに、**ローラット法**（1919年）は、イギリスが令状なしの逮捕や裁判なしの投獄を承認した法律で、それに反対する市民集会で起こったのが**アムリットサル事件**である。

問5 31 **正解は②**

難易度 ★★☆☆☆

解説

出題分野は、グローバル化と多極化であり、第3次インド＝パキスタン戦争の結果、1971年にパキスタンより分離・独立した国の名と、地図上での位置に関する問題。戦争の結果、分離・独立した国などは必ず地図上で確認しておきたい。また、あまり頻出ではないが、インド＝パキスタン戦争に関する出来事は、現在もしらがみが残っている場合もあるため、確認しておくといよい。復習する際には、「◆整理 **インド＝パキスタン戦争の契機・結果**」を利用してほしい。

まず、国名と地図上での位置が一致している選択肢は、②と③。第3次インド＝パキスタン戦争の結果、1971年にパキスタンより分離・独立したのは**バングラデシュ**であるため、正解は②の**バングラデシュ－b**である。パキスタンは、1947年の独立達成以来東西に分かれていたが、政治的・経済的に西が東を支配している状態が続いた。この状態に東パキスタンが不満をもち、1971年3月にパキスタンからの独立を宣言し、第3次インド＝パキスタン戦争でインドの承認を得て、バングラデシュとなった。

◆整理 インド=パキスタン戦争の契機・結果

第 1 次 (1947 年～1949 年)

契機：カシミールの帰属問題

結果：国連の仲介で停戦

第 2 次 (1965 年)

契機：カシミールの帰属問題

結果：安保理の停戦提案で終結

第 3 次 (1971 年)

契機：東パキスタンの難民のインド流入と対インド接近，カシミール問題の解決など

結果：インドの大勝

問 6 32 正解は②

難易度 ★★★★★☆

解説

出題分野は，米ソ両大国の動揺であり，核拡散防止条約（核不拡散条約，NPT）が締結された時期に関する年表問題。この問題は，年号を覚えるか，流れを把握するかのいずれかしか解くすべがないと思われる。なかなか難しい問題ではあるが，この問題を機に核兵器に関する条約の流れをつかんでおこう。復習する際には，「◆整理 核兵器に関する条約」を利用してほしい。また，年号も他のイベントと関連付けて覚えられるとよい。

核拡散防止条約が締結されたのは，1968 年。この条約は，核兵器保有国をアメリカ・ロシア・イギリス・フランス・中国に限定し，核非保有国への核兵器譲渡や製造援助を禁止したもの。しかし，核保有を 5 カ国だけに認めるという不平等な内容や，条約に加盟せず核兵器を保有していると思われる国があることなどから，多くの問題が残されている。

問 7 33 正解は③

難易度 ★★★★★☆☆

解説

出題分野は，①，③米ソ両大国の動揺，②，④東西対立と両陣営の形成であり，アメリカ合衆国の外交政策に関する問題。「誤っているものを選ぶ」ことに留意する。アメリカ史は，大統領ごとで出来事を覚えていくことをお勧めする。不正解だった場合は，アメリカ現代史を復習しておこう。

- ① 正 1973 年にパリ和平協定が調印され，アメリカ軍は撤退した。ただし，この協定調印後も南ベトナム政府と北ベトナム・解放民族戦線との戦闘は続行し，アメリカは南のベトナム共和国に武器を送り，支援を続けた。

- ② 正 **大西洋憲章** (1941 年) を発表したのは、**アメリカ**のフランクリン＝ローズヴェルトと**イギリス**のチャーチル。大西洋憲章では、領土不拡大・国際機構の再建・民族自決などを主張した。
- ③ 誤 中華人民共和国を最初に訪問したのは**ニクソン大統領**。同時に**米中共同声明**を発表し、アメリカが事実上中国を承認したことになった。
- ④ 正 ソ連や**共産主義の封じ込め**を宣言したのは**トルーマン大統領**。特に、ギリシア・トルコの共産主義化を阻止するために援助することを宣言したのが、**トルーマン＝ドクトリン**と呼ばれるものである。
- ※**マーシャル＝プラン**は、アメリカの経済援助によるヨーロッパの経済復興計画で、これもヨーロッパの共産主義化を防止するための策とされている。

◆整理 インドシナ戦争とベトナム戦争

1941 年：ベトナム独立同盟 (ベトミン) 結成 (指導者：ホー＝チ＝ミン)

1945 年：ベトナム民主共和国 (北) が独立宣言

1946 ~ 54 年：**インドシナ戦争**

1949 年：ベトナム国 (南) (仏支援) 成立 (元首：バオダイ)。

1954 年：**ディエンビエンフーの戦い**→フランス敗北、ジュネーヴ休戦協定→北緯 17 度線が境界線に

1955 年：ベトナム共和国 (南) (米支援) 成立

1960 年：南ベトナム解放民族戦線 (ベトコン) 結成

1964 年：トンキン湾事件

1965 ~ 73 年：**ベトナム戦争**

1965 年：ジョンソン大統領が北爆を開始

1968 年：パリ和平会談開始→北爆停止

1972 年：ニクソン大統領が北爆再開

1973 年：パリ和平協定調印→米軍撤退

1975 年：**サイゴン陥落**→ベトナムの南北統一達成

1976 年：**ベトナム社会主義共和国**成立

(制作：重森理瑛，佐野来実)